

# 都市構造可視化を活用したまちづくり ～「まちなか居住推進事業」において～



## 新潟県 上越市 都市整備課

### 1. 上越市の取組

#### 位置図



- 平成29年3月に「**上越市立地適正化計画**」を策定
- 立地適正化計画の目標を達成するための施策の1つとして、平成30年に「**まちなか居住推進事業**」に着手
  - 誘導重点区域において、「これからも住み続けたい」「新たに住んでみたい」「また訪れたい」と思う人が自然に集まるまちを目指す
  - 行政と住民が協働によるまちづくり



「都市構造可視化」を活用

## 2. まちづくりの現場での活用 ~まちなか居住推進事業~



関係者への事業説明状況

説明・発信



住民ヒアリングの結果を可視化して把握・分析

把握・分析



まちなか居住推進事業事務局との打合せ



i-都市交流会議2022

Google Maps マイマップを活用

現地調査



施策検討



可視化データをもとに議論  
施策の根拠資料に



公園担当者との打合せ

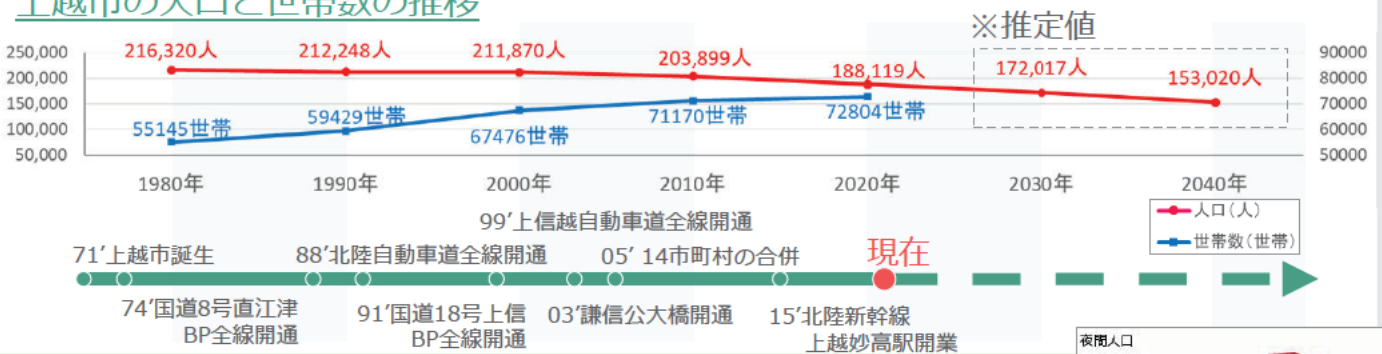
3



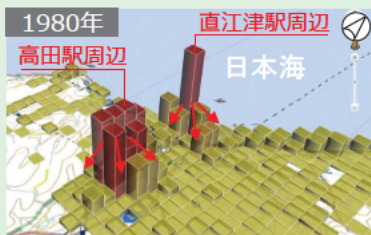
説明・発信

~取組の背景をわかりやすく作成~

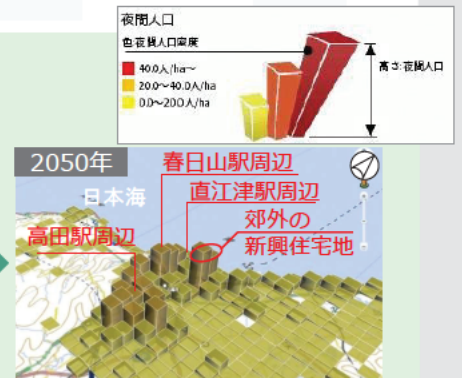
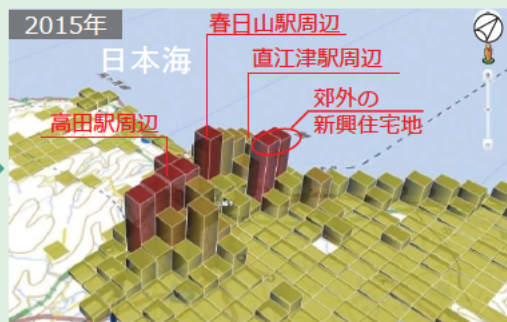
### 上越市の人口と世帯数の推移



### 人口の経年変化



補注：都市構造可視化、地理院地図を使用



人口減少、世帯数増加（核家族化）  
道路交通網の整備

市街地の拡大  
市街地の空洞化



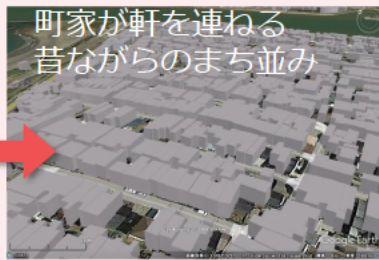


## 把握・分析 ～住民の意見をわかりやすく可視化～

### 住民ヒアリング①：「町家は若者世代が求める居住環境に合わない」



出典：はれまち土橋HPより  
(土橋第二地区土地区画整理組合)



補注：Gray Buildings © 2008 ZENEIN,  
Google Earthを使用

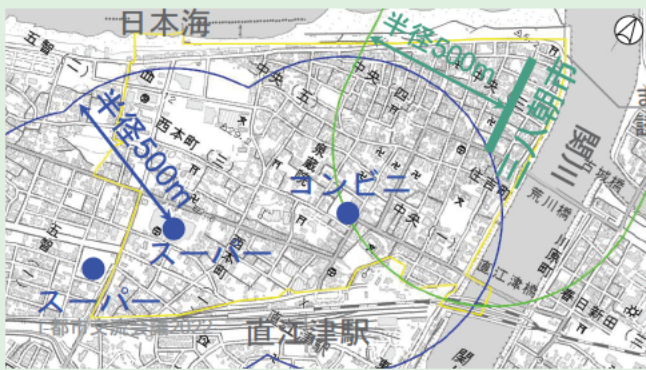


- 敷地が狭い
- 駐車スペースがない
- 隣家と壁を共有している

若者世代は郊外の新興住宅地に移住

まちなかの少子高齢化

### 住民ヒアリング②：「生鮮食品を買える店が少ない」



三八朝市の出店状況

「朝市」は車に乗れない  
高齢者にとって重要



## 現地調査 ～作成したKMLデータの現地確認～

Google Mapsマイマップ機能を活用

作成したKMLデータをタブレットで確認しながらまち歩き

※情報の取扱いに十分注意  
個人情報是不用意に持ち出さない

町家エリアの狭隘道路を確認 ⇒ 建替えが困難な住宅も存在



狭隘道路の拡幅は  
難しいな...

GPSが使えて  
道に迷わない



- 凡例
- 誘導重点区域
  - 町家混在エリア
  - 道路幅員  $W < 1.8m$
  - 道路幅員  $1.8 \leq W < 4m$

補注：Google Maps マイマップ、  
©2022 Google を使用

公園がないエリアを実際に歩いて周辺環境を確認



町内会館の横に  
空き地があるな...



- 凡例
- 誘導重点区域
  - 町内会境界
  - 都市公園
  - 250mバッファ

補注：Google Maps マイマップ、  
©2022 Google を使用

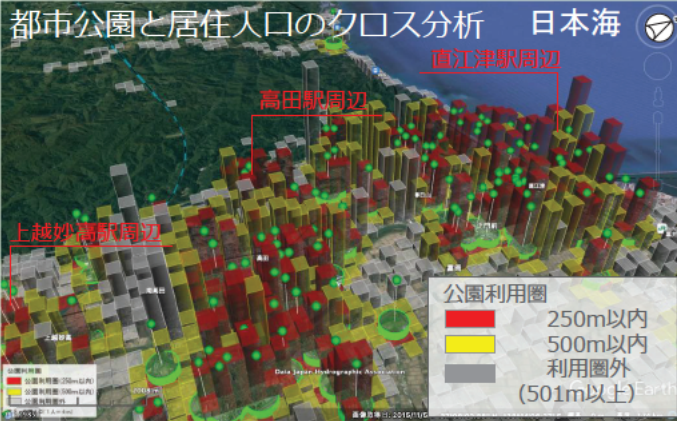


# 施策検討 ～可視化データをもとに対応を検討～

住民の意見を可視化し、課題の把握（まちなか居住推進事務局）

例えば公園ならば・・・

公園担当者と課題の共有、公園の適正配置検討の基礎資料に



内閣府地方創生推進事務局（コンサルタント）に自治体データの可視化支援を依頼し、作成

公園から半径250mのバッファを作成（直江津のまちなか）

補注：都市構造可視化計画、Data Japan Hydrographic Association image, Google Earthを使用

補注：Image © 2021 TerraMetrics Data Japan Hydrographic Association, Google Earthを使用

施策の立案・検証

昔からの市街地は、居住人口に対して公園が少ない

⇒ 土地区画整理や民間開発に伴う公園が多い

i-都市交流会議2022

7

## 新潟県上越市



i-都市交流会議2022

8